

新年のご挨拶

新年明けましておめでとう
ございます。昨年は皆様より
公私ともにお世話になりました。
してありがとうございます。
また、県政に対する貴重なご
意見を多数賜り心より感謝申
上げます。

一年を振り返ってみますと、年明けすぐに県知事選挙、九月には
衆議院解散、総選挙、そして十一月には新庄市長、真室川町長選挙と、
まさに「選挙」づくしの年でありました。民意を最も良く現す手段ではあり
ますが、その度に投票率向上にご協力を頂きましたこと、誠に恐縮でございます。

さて、県政では、齋藤知事が「やまがた改革」を新しく提唱し、さらなる踏み込んだ、
スピード感のある改革に取り組んでいる所です。正直申しまして、県議会はそのスピード
に追いついて行くのがやつの事という感が否めません。十一月に示された、今年平成十
八年度の予算編成方針をみてみましても、新手法として、予算を「義務費」と「非義務費」
に区別し、義務費については△10%減、非義務費については△40%減とすることになり、
代わり、重点四項目、

- 一、男女共同参画社会の形成・実現
 - 二、産業間の連携（特に食産業界の創出）と広域展開力の強化
 - 三、環境と共生し、循環を基調とする山形ならではの地域づくりの推進
 - 四、県民の安全・安心な暮らしを支える震災対策の推進
- に百億円を投資する方向となっています。と同時に県庁改革の一環として、職員数とその
給与を大幅に削減することを提案しております。このことで県民の皆様が等しく改革を認
識し、共に実行して行くという一体感を共有できればベターと存じます。

私たち県議会議員は、現場第一主義です。寒かろうと、暑かろうと、地域の方々の要請
が、有ろうと無かろうと出向き、顔を合わせ、お話しをお聞きすることから始まります。
そういう意味で今後も情報を受・発信し、また共有し、この最上の地ですっかりと生活し
てまいりたいと考えております。

本年は「戌年」です。渋谷の忠犬八公ではありませ
んが、人を信じ、信じられる、そんな世の中の実現に、
邁進する決意です。

どうか今年一年が皆様にとりまして健康で穏やか
な年になりますよう、ご祈念申し上げ、ご挨拶
と致します。



謹賀新年



伊藤重成県政報告 Vol.4

県政二期目、平成17年度を総括して。



プロフィール
 昭和31年 最上郡舟形町長沢生まれ
 昭和50年 山形県立新庄北高等学校卒業
 昭和54年 成蹊大学法学部政治学科卒業
 平成 8年 近岡理一郎科学技術庁長官大秘書官
 平成11年 山形県議会議員初当選
 平成12年 自民党県連青年局長
 平成14年 建設常任委員会委員長・議会運営委員
 平成15年 山形県議会議員2期目当選
 総務常任委員会委員長
 平成17年 広報委員会委員長・定数検討委員会委員

第44回衆議院総選挙で自由民主党が圧勝

第44回衆議院総選挙が、9月11日に行われ、自由民主党の圧勝となりました。

県内3小選挙区は、1区・遠藤利明氏、2区・遠藤武彦氏、3区・加藤紘一氏が当選なされました。

加藤先生の小選挙区での得票率は安倍晋三内閣官房長官、小泉純一郎総理に次ぐ、全国第3位であり、それだけ期待感が強いことの現われです。

郵政改革はもとより、年金問題・社会保障制度の在り方等、課題は山積しています。

解決を一つ一つ、スピード感を持って行って欲しいと思います。

平成17年9月18日



■加藤紘一候補、岸宏一参議院議員、半田庄一郎大蔵村長と共に

県議会「広報委員会委員長に任命」



9月定例議会に於いて、県議会議長のもとに、新しく広報委員会が設置され、その委員長に任命されました。

現在、自民党山形県連の広報委員長の任にもありますが、開かれた議会を目指し、努力してまいりたいと思います。

山形県議会の広報については、比較の仕方にも程度がありますが、他都道府県などと比べてみま

すと、かなりせい弱であり、早急な改善が必要となっております。

例えば、本議会のインターネットでの映像配信などでは、行われてない数県に入っており、先進県ではすでにテレビ中継もなされています。

全般的な議論とともに、すぐに実現可能なものがあれば、着手してまいりたいと存じます。

平成17年9月27日

最上総合支庁へ要望活動

最上町の方々と、満沢道路の整備促進へ向け、最上総合支庁へ要望活動に行った際に玄関でバッタリ齋藤知事と遭遇し、気軽に声を掛けていただきました。皆様「知事と会えるなんて真面目にしてっど、嬉しい事もあるなあ。県会議員、これからは頼むぞ〜!!」とおだてられてしまいました。嬉しいやら、気が引き締まるやら、ファイトが沸いてきます。

『齋藤知事』さん、県民皆様の為、共に力を合わせ、頑張りましょう。

平成17年8月9日



■写真中央の齋藤知事と一緒に

高速道路と私たちの生活

待望久しい、国道13号新主寝坂道路(トンネル)が開通しました。今、国では道路特定財源を一般財源化しようとする方向にあります。しかしなが

ら、すでに高速道路の恩恵を受けている所と、等しく税を払いながら、まだ叶わない地域に住む私たちの「差」は、どう認識すればいいのでしょうか？不公平感はやがて、不満となり、政治に対する不信となります。



■舟形町議会、戸沢村議会代表の方々と

結城文部科学事務次官と懇談

2月県議会にて齋藤新知事より平成17年度予算案が内示になりました。約5,700億円の骨格予算となります。

私はその後すぐに上京し、1月に文部科学省トップの事務次官に就任なされた、村山市出身の結城氏を表敬訪問しました。私が近岡科学技術庁長官の秘書官をしておりました際にちょうど科技庁の総務課長をなさっており、山形の「さんさんプラン」の話などで盛り上がりしました。2月の終わりに早速、上山の学校を視察なさってください、ありがとうございます。



平成17年2月15日